



まつなぎや

みんなそれぞれのスペースで
それぞれの過ごし方で



🏠 まつなぎや

📍 大村市竹松本町1000-22

🕒 火～土曜日（祝祭日は休み）

🆓 無料

👤 小学生から若者まで

📄 不要

👥 特定非営利活動法人schoolt

☎ 080-4285-0279 ✉ matsunagiya@gmail.com



こども食堂



イベント



多世代交流



フリースペース



ホームページ

現在の活動を実施するに至ったきっかけ

ヤングケアラー支援事業をするにあたって、相談窓口だけの開設では機能しないと思ったのがきっかけ。ヤングケアラーの多くが、様々な課題が複合的に絡みあっていて、単発の相談や支援による解決が非常に難しく、いわゆる「伴走型支援」としての関わりが欠かせないと考えています。また、信頼関係を築くことで、安心感を抱き、心を開くきっかけとなり、時間をかけて「共にいる」という場と人が必要であると思ったのも活動するに至ったきっかけです。

その中で感じていること

周囲からヤングケアラーと限定されないように、ヤングケアラーに限定せず、どんな子ども・若者も予約なしで利用可能としています。その結果、ヤングケアラーに限らず、様々な課題を持った子ども・若者はある一定数存在し、信頼関係を深めていくと皆一様に、元々持っている健康な部分の欲求を口にする傾向にあることが分かりました。それは、元々持っている健康的な部分の欲求を満たすためのSOSで、食事のことや、教育に関する事もあります。私達はこの場面を重ねるたびに、この場が子どもの権利を守ることと直結し、直接関わる事が可能な場所の一つではないかと思っています。

活動のアピールポイント

主な活動は、①相談窓口②広報・啓発③子どもの居場所の運営です。居場所では、子ども達が「自分で選択をする」つまり自由を尊重し、室内は音楽とアロマ・ドライフラワー等で、癒しをテーマに、お互い協力しながら落ち着いて過ごせる空間を意識しています。大勢の中には、課題を抱えた子ども・若者が利用しています。次のステップは「自分で選択する」という力が湧くまでの“間をつなぐ”という効果が居場所にはあることを確信しています。週末の土曜日は、ヤングケアラー当事者の会、子ども食堂、ワークショップとイベントを開催しています。当事者の会は、完全にクローズの場ですが、子ども食堂・ワークショップでは、地域の方のボランティア参加もあり、多世代交流の場にもなっています。親や先生以外の頼れる大人や大切にしてくれる大人が増えることは、子どもの成長過程で大切なことだと感じています。